

課題番号：処-301

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「クリアランス」 課題「クリアランスによる廃棄物量の低減」		時間軸情報	汚染水対策				
				使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Action			燃料デブリ取り出し				
				PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由			輸送・保管・貯蔵				
				処理・処分・環境回復				1,2,3
			(参考) 関連する研究課題					
1	解体から生じる廃棄物（コンクリートや金属）の合理的処理・処分方法を知りたい。	●クリアランスにより解体廃棄物の物量をどこまで低減できるかを合理的に検討するために、放射性物質が付着したコンクリートや金属等の解体廃棄物の除染技術を整備する必要がある。	【実施されている研究課題】					
			H28年度英知「汚染コンクリートの解体およびそこから生じる廃棄物の合理的処理・処分の検討」					
2	解体から最終処分までの全体を俯瞰した放射性廃棄物の管理シナリオを策定したい。	●廃止措置が進むにつれ、解体物は今後より一層増加し、最終処分までには長期間を要すると考えられる。そのため、解体作業から最終処分までの放射線被ばくリスクを考慮に入れた管理シナリオの検討が望まれる。	【実施されている研究課題】					
			特になし					
3	分析手法を合理化し分析を迅速に行いたい。	●今後解体等により、コンクリート・金属廃棄物が大量に発生することになる。大量の廃棄物のクリアランスを迅速に行うことは廃止措置をスムーズに進めることにつながるため、分析手法の簡素化が望まれる。	【実施されている研究課題】					
			特になし					
関連する課題			処-102「廃棄物戦略」					